

平成31年度

事業報告書

社会福祉法人  
吾妻福祉会

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月31日

作成年月日 令和 2年 4月17日

# 平成31年度事業報告書

(社会福祉法人 吾妻福祉会)

## 1. 【理事会・評議員会及び監査会等】

(1)理事会 (理事総数 6名)(監事総数 2名)

開催年月日	出席者	議案内容
令和元年 6月7日 (第1回)	北村 告迪 松竹恵美子 馬渡 智子 原田 朗 岩永由美子 島田 由美 竹内 七重 秋山 勝也	(1)平成30年度吾妻福祉会事業報告(案)の承認について (2)平成30年度吾妻福祉会収支決算(案)の承認について (3)役員(理事・監事)の改選について (4)その他
令和元年 6月26日 (第2回)	北村 告迪 松竹恵美子 馬渡 智子 岩永由美子 島田 由美 山口 景子 竹内 七重 秋山 勝也	(1)吾妻福祉会 理事長並びに補欠の選任について (2)役員報酬規程の制定について (3)その他 ★ 理事長職務執行状況の報告
令和元年 9月20日 (第3回)	北村 告迪 松竹恵美子 馬渡 智子 岩永由美子 島田 由美 山口 景子	(1)平成31年度吾妻福祉会第1次補正予算書(案)の審議について (2)役員報酬の制定について (3)定款の一部変更について (4)人事異動(施設長人事)について (5)その他
令和2年 2月14日 (第4回)	北村 告迪 松竹恵美子 馬渡 智子 岩永由美子	(1)平成31年度吾妻福祉会第2次補正予算書(案)の審議について (2)シロアリ駆除管理及びタブレットシステム導入について

	島田 由美 山口 景子	(3)その他
令和2年 3月18日 (第5回)	北村 告迪 松竹恵美子 馬渡 智子 岩永由美子 島田 由美 山口 景子 竹内 七重	(1)令和2年度吾妻福祉会事業計画(案)について (2)令和2年度吾妻福祉会収支予算(案)について (3)その他 (4)理事長職務執行状況の報告について

(2)評議員会 (評議員総数 7名) (監事総数 2名)

開催年月日	出席者	議案内容
令和元年 6月25日 (第1回)	村山 英明 本多 周太 熊崎 正一 小野 治 酒井 久幸 竹内 七重 秋山 勝也	(1)平成30年度吾妻福祉会事業報告(案)の承認について (2)平成30年度吾妻福祉会収支決算(案)の承認について (3)役員(理事・監事)の改選について (4)その他
令和元年 9月27日 (第2回)	村山 英明 本多 周太 熊崎 正一 小野 治 酒井 久幸 池田 秀則 植木小由美 竹内 七重	(1)平成31年度吾妻福祉会第1次補正予算書(案)の審議について (2)役員報酬の制定について (3)定款の一部変更について (4)人事異動(施設長人事)について (5)その他
令和2年 2月28日 (第3回)	本多 周太 熊崎 正一 小野 治 酒井 久幸 池田 秀則	(1)平成31年度吾妻福祉会第2次補正予算書(案)の審議について (2)シロアリ駆除管理及びタブレットシステム導入について (3)その他

	植木小由美 竹内 七重 秋山 勝也	
令和 2 年 3月27日 (第 4 回)	村山 英明 本多 周太 熊崎 正一 小野 治 酒井 久幸 池田 秀則 植木小由美 竹内 七重	(1)令和2年度吾妻福祉会事業計画(案)について (2)令和2年度吾妻福祉会収支予算(案)について (3)その他 (4)理事長職務執行状況の報告について

(4) 監事による監査 (定数 2名)

開催年月日	出席者	議案内容
令和 元年 6月4日	竹内 七重 秋山 勝也	(1)平成30年度吾妻福祉会の事業実績について (2)平成30年度計算書類及びその付属明細書並びに財産目録について

(5) 内部統制監査

開催年月日	出席者	監査内容
平成 31 年 3月26日	監 事 神原 寛 理事長 北村 告迪 次 長 北村 保 相談員 松竹恵美子 センター長 御厨 宏慈 事務長 北村 恵里	・ 内部監査チェックリスト表による監査 本部、吾妻荘、デイ、三経理区分ごとに、チェックリスト表により監査 ・ 決算報告及び監事監査のための最終チェック
令和 元年 10月20日	監 事 竹内 七重 理事長 北村 告迪 施設長 北村 保 相談員 松竹恵美子 センター長 御厨 宏慈 事務長 北村 恵里	・ チェックリスト表により、平成30年4月から9月30日まで6ヶ月間を監査

(6) 県指導監査課による監査

開催年月日	監査要領	議案内容
令和元年 10月4日	提出資料 養護老人ホーム	平成30年度老人福祉施設措置事務指導 長崎県福祉保健部 監査指導課

2. 【老人ホームの事業実施状況】

(1) 市町村別入所状況（令和 2年3月31日現在）

	男	女	計
雲仙市	12	32	44
諫早市	0	4	4
島原市	1		1
尼崎市	1		1

(2) 年齢別・性別入居者数（令和 2年3月31日現在）

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計
男		2	2	1	5	2	1	13
女		1	3	2	5	9	16	36
計		3	5	3	10	11	17	49

(3) 入居者数と平均年齢（令和 2年3月31日現在）

	入居者数	平均年齢	最高齢	最年少
男	13	79.8	91	65
女	36	87.5	99	69
計	49			

(4) 介護度状況

区分	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
4月		2	7	7	3	6	3	28
5月	1	1	7	8	2	5	4	28
6月	1	1	7	8	2	6	4	29
7月	2	1	7	8	2	6	4	30
8月	1	1	7	8	2	6	3	28

区分	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
9月	1	1	8	9	2	6	3	30
10月	1	1	8	9	2	6	3	30
11月	1	1	8	7	2	7	3	29
12月	1	1	8	7	2	7	3	29
1月	1	1	7	7	3	7	3	29
2月	1	1	8	7	3	6	3	29
3月		1	4	8	4	6	3	26

(5) 介護サービスの利用状況（令和 2年3月31日現在）

種類	通所介護	通所リハ	訪問介護	訪問リハ	福祉用具
男	4	0	6	0	0
女	14	0	19	0	0
計	18	0	25	0	0

複数該当者が存在

(6) 入居者の移動状況

退 所					入 所			
出身市町	性別	年齢	退所月日	理由	出身市町	性別	年齢	入所月日
雲仙市	男	79	7月31日	長期入院	雲仙市	女	93	8月20日
雲仙市	女	95	8月14日	死亡	雲仙市	女	93	8月23日
雲仙市	女	92	11月1日	死亡	雲仙市	男	87	11月11日
雲仙市	男	87	1月3日	死亡	雲仙市	男	86	1月27日

(11) 職員配置状況(訪問介護・外部サービスを含む) R2. 3. 31現在

職種	常勤	非常勤	パート	職種	常勤	非常勤	パート
施設長	1			支援員	1	3	2
次長				介護員	7	7	1
事務員	2		1	調理員		3	3
相談員	1	1		宿直者			2
看護師	1			嘱託医			
栄養士	1			計	14	15	9

## 2. 【事業実施状況】

### (1) 地域との協働と社会貢献

- ① 中学生の職場体験を受入れ、地域の子供達との交流も深まった。
- ② 職員を、養成校や刑務所へ講師として派遣をし、地域に出向いての活動を続けた。
- ③ 短期宿泊事業(ショートステイ)

雲仙市生活管理指導による短期宿泊事業の受け入れについては、地域高齢者福祉の拠点として担うべき重要な使命であることを認識し、空部屋状況を常に把握し、積極的な受け入れに努めた。また、関係機関等と連携を密に行い、介護者不在、虐待等家庭の事情による緊急な受入対応も行うことができた。
- ④ 生計困難者レスキュー事業

地域で生活困窮されている方のレスキュー依頼（無し）

### (2) 利用者中心のサービスの提供

#### ① リスクマネジメントの徹底

- ・ 毎月のヒヤリハット、事故報告を分析し、カンファレンスを開催して再発防止策に努める他、毎月事故対策委員会を開催し、事例を基に再発防止策を検討した。その後も定期的に再発防止策の実施状況を確認。
- ・ 「身体拘束廃止マニュアル」に基づき、利用者本人又は他の利用者等の生命又は身体を保護するために緊急やむを得ない場合を除き身体拘束廃止を徹底し、利用者の人権を尊重した適切な施設運営に努めた。引き続き拘束ゼロを推進する。
- ・ インフルエンザ予防接種を入居者及び職員全員に実施し、流行前より施設全体に薬用噴霧器を設置し感染防止及び拡大防止の体制を整え、施設に出入りするすべての方に対して、手指消毒・マスク着用を実施し予防策の徹底に努めた。

#### ② ケアマネジメント体制の充実

- ・ 利用者のニーズに沿いつつ、個別サービス計画を策定し、計画に基づくサービス提供を行った。
- ・ 各個別計画サービスが、日々の生活の中でどれだけ有効に実施されているか毎月モニタリングを行い、見直しが必要な場合は再アセスメントを実施し、適切にケアマネジメントを展開した。

### ③ サービスマナーの向上

毎月1回接客サービス介護技術班会議を開催し、虐待及び不適切ケアに関する自己点検を行い、接客マナーの向上を図った。

### ④ 口腔機能維持の推進

訪問歯科医及び歯科衛生士による指導の下に口腔ケアを実施し、口腔ケアの向上及び口腔機能維持に努めた。

## (3) 専門職の連携を活かした職場づくり

### ① 研修体制の充実

計画的な施設内研修を行い、外部研修に積極的に参加し、研修報告会を実施した。

#### <施設内研修>

	開催日	事業名	参加者
4	4月23日	夜間火災想定避難訓練	当日出勤者
5	5月30日	転倒時の対応について	当日出勤者
6	6月28日	感染症について	当日出勤者
7	7月23日	知的障害者の特性と雇用における配慮	当日出勤者
	7月24日	オムツ交換研修会	当日出勤者
8	8月27日	消防署立会い火災訓練	当日出勤者
9	9月19日	虐待防止研修会(研修報告会)	当日出勤者
10	10月12日	身体拘束・事故対策合同研修	当日出勤者
11	11月3日	隔離対応について	当日出勤者
12	12月10日	夜間火災想定避難訓練	当日出勤者
1	1月27日	医療連携・事故対策合同研修	当日出勤者
2	2月25日	新型肺炎について	当日出勤者
3	3月21日	隔離対応について	当日出勤者

#### 吾妻デイサービスセンター

別紙 1 「平成31年度施設内研修実施記録」のとおり。

#### <施設外研修・会議>

#### 養護老人ホーム吾妻荘

別紙 2 別紙 2-2 「平成31年度外部研修会参加一覧」のとおり。

#### 吾妻デイサービスセンター

別紙 3 「平成31年度職員外部研修実施記録」のとおり。



<平成31年度免許・資格取得者>

取得年月	免許・資格	取得者	職種
令和2年3月	介護福祉士	馬場未来	介護員(デイ)

② 専門性の向上

人事考課により職員各自のモチベーションアップを図った。

③ 労働安全衛生の推進

- ・ 年次有給休暇年間取得を計画し、年休を取りやすい職場環境づくりに取り組むことができた。

(4) 安定的な経営基盤の確保

① 経費節減

デマンド管理により、節電に努め不要箇所消灯の徹底実施により光熱費の節減ができ、また地域の農家や卸屋から直接野菜を仕入れ、食材費の経費削減もできた。

② 人材確保

- ・ 人材育成班を中心に、主任会議等随時開催し、風通しの良い職場環境づくりに努めた。
- ・ ハローワークと同時に、インターネット等を活用した募集を継続的に行った。
- ・ 職員からの積極的な紹介等もあり、安定的な人材の確保ができた。

③ 施設整備

養護老人ホーム吾妻荘	職員浴室改修(ロッカー室設置)
吾妻デイサービスセンター	空調設備落雷被害修理

3. 【処遇・サービス】

(1) 行事・活動

<養護老人ホーム吾妻荘>

別紙 4 「平成31年度行事実績報告書」のとおり。

<吾妻デイサービスセンター>

別紙 5 「平成31年度 行事実績報告書」のとおり。

別紙 6 「平成31年度 行事実績報告書」のとおり。

## (2) 食事について

- ・ 入居者の心身の状況、年齢及び性別に応じた適切な食事の提供を行った。
- ・ 行事食や四季折々の旬の食材を取り入れることで季節を感じる食事提供を行った。
- ・ 茶話会や嗜好調査で出た入居者からのリクエストに対し、試行錯誤し新メニューを取り入れた。
- ・ 食事のマナー化を防ぐため、見栄えや目先を変えるよう新しい食器の導入や盛付け、食材の切り方を工夫し飽きのこない食事提供を行った。
- ・ 地域の農家や卸屋から直接仕入れることにより、新鮮な野菜を提供することができた。

### <食事時間>

朝食：7:40 昼食：12:00 夕食：17:30

### <提供形態>

31. 3. 31現在

刻み食	8	粗刻み食	10	極刻み食	0
ミキサー食	3	カリウム制限	0	減塩食	3
糖尿病食	0				

## (3) 健康管理状況

- ① 嘱託医による定期健康診断(入居者:4月)(夜勤職員:1月・7月)
- ② 健康管理センターによる健康診断(全職員:1月～3月)
- ③ 胸部レントゲン(入居者:7月)
- ④ インフルエンザ予防接種(全職員・入居者:11月)
- ⑤ まき歯科による口腔アセスメント診断(入居者:入所時)及び口腔ケア指導(随時)
- ⑥ 職員及び入居者の手洗いや水分補給の徹底に努め、手指消毒の励行を行い面会者や出入り業者の方に対しても手指消毒やマスク着用の協力をして頂き、感染症予防に努めた。(マスク着用の声かけ及び正しいマスク着用の指導)
- ⑦ 施設内(居室・廊下・ロビー)の温度差が無いよう全館に暖房を入れ、乾燥しないよう加湿器を設置し、温度及び湿度調整を行った。(居室の換気)
- ⑧ インフルエンザ・ノロウイルス等を施設内に持ち込まないため、殺菌効果のある自動超音波消毒噴霧器を設置し、感染症対策に努めた。

<医療機関と入居者の通院及び往診状況>

31. 3. 31現在

病 院 名	通院人数	病 院 名	通院人数
永吉医院	26名	諫早総合病院	2名
安藤病院	11名	ありあけ病院	5名
長田医院	1名	まき歯科	22名
愛野記念病院	13名	中村眼科	1名

<入院状況>

月	傷 病 名	病 院 名	人 数
5 月	肺炎	安藤病院	2 名
	脳内出血	宮崎脳外科	
6 月	誤嚥性肺炎	永吉医院	1 名
7 月	指及肘部管症群	愛野記念病院	1 名
8 月	低カリウム血症	永吉医院	4 名
	肺炎	永吉医院	
	左大腿骨骨折	愛野記念病院	
	認知症・喘息	ありあけ病院	
9 月	肺炎・喘息	安藤病院	1 名
11月	腸閉塞	安藤病院	2 名
	肺炎		
1 月	肺炎	永吉医院	1 名
2 月	認知症悪化	ありあけ病院	2 名
	肺炎	安藤病院	
3 月	肝性脳症	諫早総合病院	1 名

4. 【施設の運営・管理】

(1)施設の連携について

各施設の管理者で、施設の運営及び利用者の状況・連絡・相談が密に行え、スムーズな運営管理を行うことができた。

(2)嘱託医との連携について

利用者に適切な医療・提供すべく病院・直面する諸問題について検討し、調整を行うと同時に嘱託医との連携の強化に努めた。

### (3) 苦情対応及び個人情報保護について

- ① 定期的に茶話会を行うことで、利用者の日常生活での不満やストレスのすくい上げを行った。
- ② 個人情報保護管理規程を基に、職員全体会議で個人情報の保護に対する周知徹底に努めた。

### (4) 利用者のご家族等との連携について

利用者の体調変化及び処遇変更等の連絡を密に行い、ご家族等との連携に努めた。

### (5) 業務の見直しと改善について

定期的な主任会議及び委員会・班会議等の開催で、日常業務の見直し・改善に努めた。(訪問介護事業所にタブレットシステムを導入し、業務改善調整中)

#### <諸会議の開催状況>

職員全体会議	12回	介護技術向上班	12回
処遇会議	随時	人材育成班	12回
身体拘束廃止委員会	随時	防火防災対策班	12回
感染症対策委員会	随時	行事・クラブ活動班	12回
事故対策委員会	随時	環境美化班	12回
給食委員会	12回	広報・IT推進班	12回
主任会議	随時	担当者会議	随時

### (6) 職員の健康管理及び労働災害の防止について

職員の心身の状態を把握し、状態により業務内容の調整や配置換えを行う等健康管理及び労働災害防止に努めた。

### (7) 防災対策の推進

- ① 災害発生時に備え、非常災害・防災計画を職員に周知する他、備蓄品・備蓄食を備え。また緊急連絡網や避難経路を周知し、防災対策の推進に努めた。
- ② 点検業者と共に防火管理者が、防災設備及び防災用具等の確保と点検を定期的実施し、火災・地震等の災害に備えて、「自衛消防計画」に基づき、訓練を実施した。

開催日	訓練	内容
随時	防火防災班による訓練	夜勤者・宿直者によるマニュアル訓練
4月	自主訓練(夜間想定)	初期消火・避難放送・避難誘導訓練
8月	消防署立会い火災訓練	初期消火・避難放送・避難誘導・消火訓練
12月	自主訓練(夜間想定)	初期消火・避難放送・避難誘導訓練

#### (10)施設設備管理業務及び修繕

- ① 保安協会による電気設備点検(2か月に1回)
- ② エレベーター機器の点検(月1回)
- ③ 西部防災による防災設備、通報設備の点検(年2回)
- ④ ノムラ冷熱機工によるボイラ一定期点検(月1回)
- ⑤ 館内清掃(毎日)・廃棄物処理(週6回)・害虫駆除(随時)
- ⑥ 三和技研による白蟻駆除及び点検(2か月に1回)
- ⑦ 老朽化による不具合箇所についてはその都度修繕

#### ※ 新型コロナウイルス感染対策

(1月)

- ・ 全国的に感染拡大の恐れがあると発令、マスクの在庫確認及び約3,000枚程の確保
- ・ 職員及び入居者へ、マスク着用と手洗い・手指消毒の周知

(2月)

- ・ 厚労省から配布された資料を用いて施設内研修を実施
- ・ 入居者への面会の禁止
- ・ マスク着用・手洗い・手指消毒の徹底
- ・ マスク・グローブ・消毒液等の確保

(3月)

- ・ 感染症全般についての研修及び隔離法の再確認
- ・ 感染症マニュアルを見直し、消毒法等の項目を追加
- ・ 職員へ健康管理の周知
- ・ 定期的に窓を開け換気の周知

平成 31 年度

事業報告書附属明細書

社会福祉法人  
吾妻福祉会

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月31日

作成年月日 令和 2年 4月17日

(4月) 全国緊急事態宣言

- ・ 不要不急の外出自粛の周知(入居者及び職員)
- ・ 検温チェック(職員及び関係者・関係業者)
- ・ 行動履歴の記録を周知(職員)
- ・ 職員の休憩、会議等、行事等の三密対策及び自粛
- ・ 事務所にシールドを設置し飛沫対策

(5月)

- ・ 面会禁止～面会制限へ(面会時、検温・体調チェックは継続)

(6月)

- ・ 熱中症予防のため施設内のマスク着用を中止
- ・ 全面解除

(7月)

- ・ 正しい手洗い研修会開催
- ・ マスク着用・手洗い・手指消毒の徹底
- ・ 職員へ健康管理の周知
- ・ 定期的に窓を開け換気の周知
- ・ 新しい生活様式の周知

(8月)

- ・ 職員へシールドマスク配布(熱中症対策)
- ・ 再度面会禁止
- ・ 関係業者の立入禁止
- ・ 特別面会スペースを玄関に設置(シールド対応)